

第30回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング

～市民とつくる環境にやさしいまちづくり～

報告書



○期 日 平成22年4月19日

○会 場 武蔵野商工会館

武蔵野市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めずに実施する「青空タウンミーティング」がございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」をテーマとしたタウンミーティングを計6回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計5回、屋外での青空タウンミーティングを計2回開催いたしました。

今回は、「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」をテーマに、クリーンむさしのを推進する会との共催により、「第30回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成22年4月19日(月)
午後6時30分～8時30分
2. 場 所 武蔵野商工会館4階 市民会議室
3. 主 催 武蔵野市
クリーンむさしのを推進する会
4. 参加者数 49人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
クリーンむさしのを推進する会 会長 新垣 俊彦
企画政策室長 小森 岳史
環境生活部環境政策担当部長 渡部 敏夫
環境政策課長 新井 浩
緑化環境センター所長 荻野 芳明
6. 司 会 クリーンむさしのを推進する会 副会長 白石 ケイ子
企画政策室市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 市民とつくる環境にやさしいまちづくり

目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 市長説明「武蔵野市の環境への取り組み」	2
(3) 第1部「武蔵野らしい緑の環境を目指して」をテーマにした 意見交換(要旨)	5
1. 市内の公園緑地の生物多様性と境山野緑地について	5
2. 活動団体の高齢化と人材育成について	6
3. 二酸化炭素削減と太陽光発電について	6
4. 歩道の看板等について	7
5. 放置自転車と車止めポールについて	8
6. 三鷹駅北口のパチンコ店について	9
(4) 第2部「ごみ減量チャレンジ700グラム」をテーマにした 意見交換(要旨)	10
1. ごみの減量、リサイクル、回収方法について	10
2. クリーンセンター建て替えに伴うごみの減量と御殿山の橋について	11
3. ごみの減量に関する子どもへの啓発について	12
4. 市民農園の抽選方法と生ごみの置き場について	13
5. プラスチックの処分方法について	13
6. ディスポーザ、電気ポット、路上のバリケードについて	14
7. たい肥づくりと校庭の芝生化について	15
(5) 閉会のあいさつ	16
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	17
3. アンケートでいただいた感想	26
【当日配布】市長説明資料「エコシティむさしのをめざして」	27

— 付属資料 —

第30回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんばんは。この1週間は寒かったですね。今日は、第30回目のタウンミーティングにお集まりいただきありがとうございます。

これまで、様々な形式でタウンミーティングを重ねており、テーマ別についても、福祉、安全、市民協働などのテーマで行ってまいりました。しかしながら、環境という皆様が大変関心のあるテーマについては、まだ行ってまいりませんでした。そこで、今回クリーンむさしのを推進する会の方々とご相談し、共催として実施することになりました。

タウンミーティングは、皆様と私の意見交換の場でございますので、今日も多くの皆様からご意見をいただきたいと思っています。いただいたご意見は、私がお場でお答えしたことや、市の考え方を含めて、報告書にまとめています。そして、次回に環境をテーマとしたタウンミーティングを行う際に、本日行いました話し合いがどのように進んでいるのかを確認しながら、続けていければと思っています。

4月22日はアースデイです。先日、代々木公園で行われましたアースデイ東京2010に出かけましたが、大変多くの方が参加しており、環境や平和など様々な活動の発表を行いました。私は、武蔵野市は環境都市だと思っています。これからのまちづくりにおいて、皆様とともにいろいろなアイデアを出していきながら、環境の先進都市になれるような、そんな武蔵野市を一緒に築いてまいりたいと思っています。

本日は、2時間余りでございますが、どうぞよろしく申し上げます。本日はご参加いただきましてありがとうございます。

【クリーンむさしのを推進する会 新垣 俊彦 会長】

こんばんは。クリーンむさしのを推進する会の会長を務めています新垣です。

先日、環境フェスタが開催されましたが、前年度に比べ参加者や参加企業が増えました。また、四小や大野田小の児童たちを中心に、非常にたくさんのお子どもたちも参加されました。

私は、市民一人ひとりが、環境に対して、きちんとした考えを持って参加することが、大きな力になると考えています。

また、昨年から同会において、市民でできることはできるだけ市民で行うことを目標に、市と協働して、いろいろな事業を進めています。今後も、様々な場面で市民から問題提起し、協働の場面をつくっていきたいと思います。ごみに特化せず、環境という広い視野からいろいろな運動を展開したいと考えていますので、市民の皆様のご協力をよろしく申し上げます。



(2) 市長説明「武蔵野市の環境への取り組み」

※当日配布資料は、27～28 ページに掲載しています。

【市長】

本市の様々な取り組みにつきましては、意見交換をする前の共通認識として説明いたします。

昨年末に『日経グローバル』誌が全国の都市を調査した結果、持続可能性の極めて高い都市として武蔵野市が全国で1位という評価をいただきました。市としましては、この評価に負けないように、来ていただいた方に「さすが武蔵野だね」と思われるようなまちづくりをしていかなければいけないと思っています。



本市では、以前から環境問題に取り組んでいます。例えば、1971年の公害防止に関する条例制定、1999年の環境基本条例制定、またその時に策定しました環境基本計画も、今年度に第三期の計画策定を予定しており、本日のご意見もこの計画にうまくつながっていけばと思っています。

環境基本計画では、「市民とつくる 持続可能な 自然の営みを活かす 安全・安心で健康に生活できるまち」という大きな環境の目標像をつくっており、具体的には、「しくみづくり」、「ライフスタイル」、「緑と水」、「交通・運輸」、「景観・まちづくり」、「健康・安全」の6つの環境方針を展開していきます。

しくみづくりとしては、環境教育や環境学習の充実として、「むさしの環境フェスタ」の開催や市内の小学校へのビオトープ設置など、子どもたちが自然の空間や環境を体験できる取り組みを実施しています。また、青梅市にある「二俣尾・武蔵野市民の森『自然体験館』」では自然の中で体験学習ができますので、ぜひご利用いただきたいと思います。市民・事業者・行政のネットワークづくりの中では、環境まちづくり協働事業として、50万円を限度に協働事業の経費を補助しています。

環境にやさしい暮らし方の提案については、皆様に新しいエネルギー機器や省エネ機器等を積極的に取り入れていただくため、太陽光発電設備や高効率給湯設備設置の助成制度を行っています。また、公共施設については、全小学校に太陽光発電を設置し、小学校で使う電力の約2割から3割を賄っています。

学校は、基本的に昼間に使う施設なので、太陽のエネルギーは極めて有効ですが、家庭の場合、夜に電気を使用するケースが多いため、うまく太陽光発電と連動しにくい状況がございます。今後、蓄電池の開発が進んでくると、家庭での利用も進んでいくのではないかと考えています。

次に、ごみ減量について、クリーンむさしのを推進する会の皆様には、率先してご協力いただいておりますが、さらにごみ減量を進めていく中で、生ごみをごみにしない、肥料にする、リサイクルしていくということをぜひ皆様も協力いただきたいと思っています。

クリーンセンターの建て替え計画が始まり、新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の設置や議論などがスタートしたところでございます。クリーンセンター建て替えにあたっては、燃やすごみの量を現在の年間3万5,000トンから3万トンに減らすことを考えています。

したがって、引き続きさらなるごみの減量について、皆様に協力をお願いしたいと思っています。

次に、ごみ減量チャレンジ700グラムについてでございます。1日に1人が排出するごみの量については、ごみの有料化前に788グラムありましたが、有料化後、平成18年11月よりごみ減量700グラムキャンペーンをスタートした結果、皆様の多大なご協力により、おかげさまでほぼ目標を達成することができました。現在、次の目標を検討していますが、さらなるごみの減量に向けて、皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

次に、緑と水を守ろうということですが、環境問題の中では、省エネ、新エネルギー、それから緑化というのが3つの大きな柱でございます。緑化政策として、市では、公園や緑地の新設など緑の創出を行っており、将来的に市内の緑被率30%以上を目指しています。

また、公園だけではなく、屋上緑化や壁面緑化など様々な工夫を、市民の皆様にも呼びかけているところでございます。市のクリーンセンターなどでは、現在、緑のカーテンを試行していますが、公共施設も含めて、多くの方にもっと協力いただきたいと思っています。



緑のカーテン

水辺につきましても、仙川リメイクに取り組んでおり、桜堤にある仙川緑地など親水性のある水辺という空間を生み出してまいりました。今度は、千川上水の方にも水と緑を軸とした空間を整備していく取り組みを進めています。

市立公園は、現在162カ所ございますが、使い勝手が悪い公園もあり、順次調査を進めてまいります。

交通・運輸も環境問題には大切なことであり、市ではムーバスを早くから導入し、多くの皆様にご利用いただいています。なるべく公共交通機関を使い、自動車を利用しないことがCO₂削減にもつながっていくのではないかと考えています。

今までのまちづくりの取り組みの中で、景観についてはあまり触れていませんでしたが、現在都市マスタープランの見直しの中では、景観を切り口にした方針について検討しています。将来は景観計画、或いは景観条例等を制定し、武蔵野らしい景観形成を進めていきたいと思っています。

電線の地中化については、市内の道路上にあるすべての電線の地中化には、1,000億円以上の費用がかかると試算しています。そこで、景観整備路線を設定し、順次電線の地中化を図る予定でございます。現在、電線のない地中化された道路が12kmありますが、あと7kmキロ増やす目標をたてています。

美しい清潔なまちづくりとしては、落書き消しちやい隊など市民の皆様にもご協力いただ

き、きれいなまちづくりを進めているというところでございます。

健康・安全では、下水道の整備も不可欠でございます。市内には、ゲリラ豪雨によって水害被害等が起こる場所がまだ幾つかございます。その水害被害対策のためにも下水道整備というのはさらに積極的に進めなければいけません。それと同時に、降った雨を下水に流さないということも積極的に進めていきたいと思っています。



現在、各小中学校の校庭に雨水貯留浸透施設の設置を進めています。雨水は下水に流すのではなく、地面の中にしみ込ませることにより、やがては地下水になっていきます。市の水道水は、8割が大深度の地下水でございますので、その点からも、降った雨はなるべく地面にしみ込ませることを全市的に展開していきたいと考えています。助成制度もございますので、皆様も、ぜひ庭に雨水浸透施設の設置について、ご協力

していただければと思っています。

それと、もう1つ、しみ込ませるだけではなく、雨水を溜めて、草花の水やりなどに利用いただきたいと思っています。雨水タンクの購入助成も行っていますので、ぜひご協力ください。

最後になりますが、行動目標では、特にCO₂の削減目標として、市民の皆様には、二酸化炭素排出量を1人1日1キログラム削減していただきたいと思っています。お配りした資料(27～28 ページ)には、冷暖房の設定温度を変えるとどれぐらいのCO₂が減るなどの具体的な項目が掲載していますので、エコシティむさしのをめざし、ぜひご家族と一緒に、少しでもCO₂の削減ができるようにご協力いただきたいと思っています。

事業者に対しましても、行動目標として、2005年度比で5%以上の削減について、広く呼びかけてまいります。

市としましては、ISO14001を取得するなど、市役所が一丸となって環境に対して挑戦しているところでございます。皆様も、今後ともまずはできることから工夫・実践し、CO₂の削減、そして環境に優しいまちづくりをともに進めていただきたいと思います。

(3) 第 1 部「武蔵野らしい緑の環境を目指して」をテーマにした意見交換（要旨）

1. 市内の公園緑地の生物多様性と境山野緑地について

【ご意見】

境に住んでいる。緑ボランティア団体を組織し、境山野緑地の保全活動を進めており、日頃から市長と緑化環境センターには大変お世話になっている。

今日は 2 点ほど提案、意見がある。1 点目は、今日いただいた資料に記載されている、水と緑にある「自然環境を守り、体験し、つくり出す」という趣旨に沿って、市内の公園緑地をできるだけ生物多様性の高い空間に変えてほしい。

2 点目は、境山野緑地の自然再生に至急取り組んでほしい。これについては、2007 年（平成 19 年）9 月、「境山野緑地の保全と活用について」という提言書では、皆伐更新と言って、ある一定区画だけ木を切って芽を出させたり、ドングリから苗を育てて、若い雑木林に変えていくことが示されている。これを受けて、2008 年 4 月の「緑の基本計画 2008」では、境山野緑地の保全が重点施策に挙げられている。これらの流れはいずれも今日出されている自然の再生、生物多様性という考え方にまさに合致したものである。



2008 年 2 月の市民向け説明会でも反対はほとんどなく、さらに隣接の方々からは、早く進めるよう要望書も出ている。そして、我々市民団体も、会員だけではなくて、地域住民とか大学生など参加し、保全活動に取り組んでいる。

しかし、行政がなかなか動いていない。皆伐更新に向けての十分な検討と市民理解の浸透や学習など、提言書や基本計画の趣旨に沿って、事業を進めてほしい。

我々、武蔵野の森を育てる会は、全面的に協力するつもりでいる。今の独歩の森を見てもらうとわかるが、木がどんどん高齢化し、間の木がどんどん枯れ、木が減っている。また、林床と言って、林の地面の部分が低木も草も生えない状況である。

境山野緑地の自然再生は、まさに今日のこの 3 番目の項目、「自然環境を守る、そしてまた生物多様性の実現、自然再生」を象徴する大事なプロジェクトだと考えているので、ぜひ進めてほしい。

【市長】

ご意見ありがとうございます。日頃から地域でご活動いただき、感謝申し上げます。まず、生物多様性につきましては、市でもいろいろなところで、自然の環境をもっと増やしていくべきではないかと思っています。

市内では、貴重な雑木林として、唯一境山野緑地が残っており、その保全を図っていくべきではないかという意見もあります。その際、皆伐更新という方法の場合、雑木林の一部分は必ず切ることになり、都市内の緑地としては、大変景観が変わってしまうのではないかと心配する意見もあります。そのため、従来の里山としての風景を復活させていくのか、あるいはもっと違った景観的な環境としての森を維持していくのか意見が分かれています。

国分寺市で皆伐更新を行おうとしていた際に、大変な反対運動が起き、多くの皆様から反対の陳情が出されたということもありますので、他の自治体の事例も参考にすべきだと思っています。

我々の思いは同じであり、いかにあの緑地を継承していこうかということでございますので、市としましても、お互いに研究、協力しながら進めていきたいと思っています。

2. 活動団体の高齢化と人材育成について

【ご意見】

境南町に住んでいる。クリーンむさしのを推進する会に昨年入会し、活動を行っている。

この間で私が活動し、まず直面した問題は活動している者の高齢化の問題である。

私は団塊の世代だが、これからはこの世代の者が、地域の活動にどんどん参画していかなければいけないと思っており、私自身、同年代の仲間を引っ張り込んでいる。

我々は、こうした活動を地域に向かってできるだけ見えやすく、わかりやすく説明していくつもりだが、市でも、協働事業として市民に向かって発信し、地域の活動に入りやすくするような土壌をつくってほしい。

【市長】



お話を聞いて、大変心強く思いました。団塊の世代の皆様にも、地域にいろいろな形で参加していただけるようになってまいりました。ボランティアセンター武蔵野が開催する「お父さんお帰りのパーティー(おとぼ)」でも、地域の団体を紹介しています。少しずつですが、ボランティアに参加にされる方も増えています。

60歳はまだまだ若いので、ぜひその力を地域にいただけたらというふうに思います。地域活動には定年がありません。できる範囲で仲よく、楽しんでいただきながら地域活動にご参加いただければと思っています。

3. 二酸化炭素削減と太陽光発電について

【ご意見】

関前に住んでいる。地球温暖化の問題は、先ほど市長からも話があったが、我々は本当に何をしたらいいのか、目的があまりはっきりしていないところがある。

目標として、1人1日当たり1キログラムの二酸化炭素の削減を掲げているが、削減のためには何をすればいいのかがわかりにくい。つまり、地球温暖化の問題で、我々に一番欠けているのは、この問題に対する認識ではないかと思っている。

むさしのエコ・アップ協議会では、二酸化炭素の削減について理解しやすいように、数字を使っているが、なかなかむずかしいところがある。エコアップセミナーでは、月1回の検針のときにいかに計算して、それを二酸化炭素削減に結びつけるかということが一番の目的にしている。現在、年14回ぐらい実施しているが、何人の方に理解いただけたかは疑問が

ある。しかし、これはやらなければならないことと思っている。理解しやすい仕組みづくりがしっかりしていないと思うので、行政としても考えてほしい。

それと、啓発は、やはり行政の非常に大きな仕事だと思う。民間団体では、なかなかできにくいというのが実態である。活動に対し、協働事業として支援があるが、予算の中で非常に制約が多く、金額もそう大した額ではない。今年の3月から、市がクリーンセンターで環境講座を行っている。これは画期的なことであり、非常に感激し、評価もしているが、啓発については、行政がしっかり考えて動いてほしい。



クリーンセンター環境講座

【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。先程のご意見は、私達も共鳴するところは多い。現在、南町コミセンを拠点にして環境活動を行っているので、少しお話したい。

1点目は、南町コミセンの屋上に太陽光発電をつけるため、約2年前から館内に募金箱を置くなど市民の手でお金を集めているが、なかなか目標額に達しない。協力いただいた皆さんも期待しており、行政の支援をお願いしたい。

2点目は、CO₂についてである。我々の会では、省エネナビという機械を皆さんに貸していて、毎日その数字が見られるようにしている。わりと簡便な機械だが、1個約3万円ぐらいするので、市役所のほうで機器の貸し出しなどの援助をしていただきたい。これが普及すると、もっと自分の家のCO₂排出量がよくわかり、その効果というのは非常に大きいのではないかと。

【市長】

ありがとうございます。CO₂削減により、地球環境をいかに守っていくかということですが、なかなか市だけの取り組みでは難しく、国がきちんと各地域の状況を判断し、それを各地域で進めるような形で必要ではないかと思えます。

ご意見にございましたとおり、私たちの取り組みはなかなか数字に出しにくいのですが、なるべく見えるような作業が不可欠だと思っています。やはり、これは国を挙げて行わなければならないと思います。

南町コミセンの太陽光発電設備の設置という取り組みについて、ご賛同いただいている方もたくさんいらっしゃることを、大変嬉しく思います。コミセンは公共施設ですので、今後どのように太陽光発電を設置していくかを、具体的に検討しなければいけないと思っています。

しかしながら、各施設に設置するには耐震上の問題もありますので、それも含めて検討してまいります。



境南小学校太陽光発電施設

4. 歩道の看板等について

【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。武蔵野の顔である吉祥寺は、本当に街が汚いと思っている。歩道と言いながら看板などがいっぱい置いてある。銀行の前などは 20 年前からひもで引っ張って歩道上にいっぱい置いてある。住みたい街ということで、大変人は増えているが、こんなに汚い街はどこにもないと思う。何故このことをまず始めにやらないのか。私は吉祥寺には 50 年ぐらい住んでいるが、駐輪対策のもとに自転車が道路に放置されている。市長には吉祥寺をきれいな街にしてもらいたい。

【市長】

歩道上の駐輪場は、3 月末で廃止いたしました。看板等の不要なものについては、これから撤去していきます。いいまちづくりを行ってまいりますので、これからもご指摘いただきたいと思います。

5. 放置自転車と車止めポールについて

【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。今日は環境づくりについて、2 つお願いがある。

1 点目は、放置自転車のことである。我々は、まじめに駐輪場にお金を払って自転車を駐車しているが、末広通りの駐輪場南側の通路にいっぱい自転車が置いてある。最近、駅周辺はきれいになったが、ここもきれいにしてほしい。

シルバー人材センターでは、自転車が 1 台 6,000 円ぐらいで買える。例えば、駐輪場の料金が 1 ケ月 2000 円とすると、違法駐輪を繰り返しても 3 ケ月以上撤去されなければ、駐輪場に止めるより撤去されるたびに自転車を購入したほうが、安くなってしまうので、きちんと取り締まりをしてほしい。

2 点目は、ムーブスの通っている南町三丁目中央の交差点を右に曲がり、井の頭通りへ出るところ、次の停留所のすぐ手前のところに、1 メートルぐらいのポールが 2 本立っている。交差点には点滅式の表示があるが、あのポールは点滅がなく、暗闇の中では全くわからない。

自動車だとか自転車は電気をつけているので、照らせば反射してわかるが、歩行者にはわからない。真っ暗になると全然見えず、ぶつかって初めて気がつく。歩行者には危ないので、ポール自体が光るようにするなど、何か対策を考えてほしい。

【市長】



ありがとうございます。放置自転車については、吉祥寺大通りの道路上の駐輪場を廃止したこともあり、防止指導員を増員し、放置自転車の指導を強化しています。したがって、ヨドバシカメラの前で自転車を停めることはできませんが、逆に放置自転車が、だんだん外側に増えていくという面もあるようです。それについては、市でもう 1 度調査し、取り締まりの強化など、対策を考えていきたいと思っています。

次に、南町三丁目の車止めポールかと思いますが、これについては、現地を確認し、歩行者にとって危険性があるならば、対策を考えなければいけません。確かに、ポールに照明を当てれば反射しますが、歩行者がいくら近づいても反射しません。視認性の確保も含め、状況を整理し、研究してまいります。

6. 三鷹駅北口のパチンコ店について

【ご意見】

境南町に住んでいる。今日は環境にやさしいまちづくりということで、テーマと少し違うかもしれないが発言したい。三鷹駅北口を出たところに、四階建ての大型パチンコ店出店の計画がある。事業者の提案だと、相当派手なデザインで、大型スクリーンも設置予定である。これは景観という観点からも大変大きな問題である。市長も随分努力しているのは知っているが、このまま行くと着工することになる。

今度、開発基本計画に係る調整会が開かれるが、市長にそれを傍聴してほしい。市長は意見書を出し、また非常に厳しく指導していることも知っているが、ぜひ市長に出席して傍聴していただきたい。

【市長】

ご質問ありがとうございました。景観も含めた環境問題だと思います。この間、多くの皆様が熱心な活動をされていることは存じていますが、建設の中止は、法的には困難な状況であり、市としても大変苦慮しています。

調整会は、地域の皆様とその事業者との調整ということが主になりますが、地域の皆様からも、ぜひ調整会のやりとりを私に見てほしいという話をいただきました。まちづくり条例制定後初めての調整会であり、私も実際に経験していませんので、日程調整の上、可能であれば参加していきたいと考えています。

市としましては、これからも事業者に対して、かたらいの道や周辺の環境に悪影響を与えないよう厳しく指導してまいります。



(4) 第 2 部「ごみ減量チャレンジ 700 グラム」をテーマにした意見交換 (要旨)

1. ごみの減量、リサイクル、回収方法について

【ご意見】

関前に住んでいる。今、日本が抱えている問題のひとつは、地球温暖化問題だと思うが、次は食糧の問題である。データが古いが、食糧全体の 28% は消費されていない。この消費されていない食糧の廃棄を少なくすればごみも少なくなるので、ごみの発生を減らす対策をしっかりとってほしい。



次に、リサイクルの見直しを全般的に行ってほしい。行政回収の資源物について、例えばプラスチックのリサイクルは、選別しないで、クリーンセンターで燃やすほうがよほど環境にはやさしいと思う。例えば、都の事業活動で排出される温室効果ガスの約 40% は、下水処理に伴うものである。これで本当に環境にやさしいのか。そういうことを調査して、きちんと見直してほしい。

最後に、行政の資源回収はやめた方がいい。まして戸別収集なんてとんでもない。それも毎週やっている。これでは集団回収は絶対に増えない。集団回収だけにすることが一番いいと思うので、本当に一度考え直してほしい。

それと、集団回収に関する説明会が年 2 回あり、以前は、いろいろなノウハウのことなど、説明会とレクチャーの会を兼ねていたので、我々も出席していた。しかし、今は事務処理の説明が中心なので行ったことがないが、こういった説明会も集団回収に対する大きなこ入れの 1 つであると思うので、ぜひ意味ある形にしてほしい。

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。今の意見に関連した話がある。以前、市長が、不燃ごみの回収を毎週から 2 週間に 1 回の頻度に減らして 7,000 万円経費節減できたと話していたが、私も減量協議会をやっており、もちろん量的に減らすということも大事だが、収集の回数を減らしていくことも効果があると思う。びんなどは、毎週だと数本しか出さないし、アルミ缶ならつぶせば量的に減るので、2 週間に 1 回で済む。

これは仕組みとして市がやると決めて、市民に対しては、「これだけ節約出来ます、だから協力してください。」ということを経費などではっきり出せば、市民も納得するはずだ。不燃ごみもやったので、引き続いて、ぜひ早急にやってほしい。

もちろん本来は、できるだけごみを出さない、発生させないことが大切だが、少なくとも今出しているごみについては、効率的に行うことが必要だと思う。

【市長】

なかなか難しい質問です。まず、食糧問題については、給食もそうですが、残渣が多いのです。1 つは、もったいない精神をもってもらうことが必要ですし、買い物も必要最小限にすることも大切です。

それから、冷蔵庫は、利便性はいいですが、実は死蔵庫にもなっています。中に何が入っ

ているのかを確認するのは面倒な部分もありますが、食糧についても目で見えるようになれば、もっとむだ遣いがなくなってくるのではないかと思います。

次に、行政回収については、確かに課題のひとつです。ある程度回数などを減らすなど、皆様方に協力をいただきながら進めないといけないと考えております。

市の一般会計での予算総額 600 億円弱のうち、ごみの処理費が 35 億円ぐらい占めていることを知られていませんので、もう少し PR するなど、情報についても理解いただけるようにしていくことが、様々な抑止力にもなっていくのではないかと考えています。

【環境政策担当部長】

まず、資源物の集団回収の件ですが、ご意見のとおり、これは非常にいい回収方式なので、今年度から予算を増やして、集団回収を増やす方向で進めています。それも、単年度ではなく、毎年計画的に増やすことを計画しています。また、現在、クリーンむさしのを推進する会の皆様にご協力いただいて、一般家庭の回収を行っています。

市には町内会がありませんので、中野区のように行政回収で資源物回収を行わないところまではなかなか行きませんが、集団回収を増やしていきたいと考えています。



集団回収用のぼり旗

あと、収集回数の件ですが、いろいろな方からご意見をいただいています。また、ごみ減量協議会からの提言もいただいておりますので、市としても実施する責務がございます。しかしながら、昨年に不燃ごみの収集回数を変えたという経過もございますので、収集回数を減らす方向で研究を進めていきたいと考えています。

2. クリーンセンター建て替えに伴うごみの減量と御殿山の橋について

【ご意見】

御殿山に住んでいる。最初の説明であったように、今度建て替えるクリーンセンターの処理能力が 3 万 5,000 トンから 3 万トンに減るといっているので、少しでも生ごみを減らすようなことを勉強しているが、市長としては、どのように 5,000 トンを減らそうと考えているのか。

もう 1 つ、ごみとは関係ないが、今度、御殿山の玉川上水のところに、橋を作るようなアンケートが来たが、それが実現したらすごくいろいろな面で便利になる。あそこは緑がたくさんあるところなので、作る場合は、その辺の環境を考えて行ってほしい。

【市長】

ありがとうございます。まず、ごみの 5,000 トン減量についてですが、減量の方法についてはまだ明確化していません。1 つは生ごみ自体をごみに出さない、つまり、たい肥化等をしていくという取り組みを進めていこうと考えています。たい肥化の方法も、拠点に集めてたい肥化することや、逆にいろいろな場所ごとにたい肥化するなどがあります。また、それを使う仕組みも検討しなければいけないので、活用できるような空間と一緒に、例えば畑などと一緒にシステム化していくようなことを現在研究しているところです。

さらに、本市だけではなく、もう少し広域的に取り組むべきと考えています。例えば、市内には農地が少ないので、たい肥をつくっても、それを利用するところが少ない。そういっ

たことも含めて、市を越えた広域的な仕組みについて研究していきたいと思っています。

いずれにしても、生ごみをリサイクル化するだけではなく、生ごみの発生自体を減らすというごみ自体の減量化が前提であり、そのことを前面に出しながら、いかにごみをリサイクルしていくかということに取り組んでいきたいと思っています。

具体的にはもう少し議論が必要だと思います。今年は、試行事業という形で、地域の皆様にご協力いただき、たい肥化の設備の設置や、拠点回収などを開始いたします。その中で課題を把握して、本市ならではの生ごみのリサイクルのあり方、減量の仕方を追究していきたいと考えています。



次に、玉川上水の架け橋の件ですが、現在、玉川上水の北側の御殿山通りの拡幅を予定しています。玉川上水の南側（三鷹市側）に風の散歩道といういい道がありますが、それに負けない道を武蔵野側にも作る計画で、沿道の皆様に用地買収のご協力をいただいております。

橋の設置場所は、むらさき橋と万助橋の間になりますが、2つの橋の距離が非常に離れています。橋を作る理由として、第一には防災の面です。災害が起きた場合に避難することを考えて、車が渡る橋ではなく、歩行者が通れるような橋を考えています。

第二としては、玉川上水沿いの三鷹市側には風の散歩道、山本有三記念館があり、反対側には都立井の頭自然文化園彫刻館があります。この彫刻館は、意外とあまり知られていませんが、故北村西望氏のアトリエがあったところであり、長崎にある平和祈念像の原型などが展示してあります。ぜひご覧いただきたいのですが、動物園の正門から入場しなければなりません。そこで、東京都には御殿山通り側にもゲートを設けてほしいとお願いしていますが、その場合、彫刻園と対岸の山本有三記念館との間の歩行者動線をスムーズにするためのものとして考えています。

今後は、玉川上水を水と緑の散歩道、そして文化薫る道として整備できたらと思っています。新たな橋については、歩行者が増えるなど、地域の皆様にとっては課題もあろうかと思いますが、様々な効果もございますので、三鷹市とともに東京都に要望していこうと考えています。

3. ごみの減量に関する子どもへの啓発について

【ご意見】

西久保に住んでいる。先程の意見に関連するが、私は、これまであまり環境やごみに関心がなかった。現在、市民協働サロンの仕事をしており、クリーンセンターの見学や、先生の話聞くなど、ごみに関する学習、体験をすることで、ごみ減量の必要性がわかってきた。

以前市民の方が、集団回収の必要性について、ごみを減量するだけでなく、子どもたちにも教えていくことを提案していたが、確かに、小さいころから学習、体験することで、大人になった時、自然とごみの減量の意識が身についているのではないかと考えている。

先程の集団回収の回答について、そういう観点からも考えているのか教えてほしい。

【環境政策担当部長】

集団回収にはいくつかの意味合いがあります。もちろん、行政回収を減らすことによる収集コストの削減もございますが、市には町内会組織が非常に少ないので、集団回収をすることによって地域のつながりが出てくるといふ意味合いも非常に大きいと考えています。市から補助金も出ておりますので、これをきっかけに地域の輪を広げていってほしいと思います。



ご意見のように、子どものころからごみや環境の問題を意識づけるということは、非常に大切であると思いますので、そのような提案もしていきたいと考えています。

集団回収については、毎年継続的に増やし、広げていきたいと考えています。

【ご意見】

1つ補足したい。集団回収の場合、特に高齢者の世帯には、かなり負担になると思うので、高齢者に配慮し、そして若い人に対する啓発というところを少し強調した事業展開をぜひ考えてほしい。

4. 市民農園の抽選方法と生ごみの置き場について

【ご意見】

西久保に住んでいる。市民農園のことだが、現在、市民農園の倍率が4倍ぐらいで、人気がある。以前、管轄部署に話してもだめだったが、生ごみを市民農園でたい肥にするとか、また、たい肥にしたものを使用するとか、そういう人には優先枠を与えてもらえないか。

次に、これは緑町市民農園の例で、他のところはわからないが、生ごみとか、雑草などの置き場が4畳分ぐらいあるが、そこがときどき山積みになっている。下がコンクリートになっているが、そのコンクリートを取り除き、土の上に置き、年に1回でも2回でも切り返しをしていけば、自然に下から土に返っていくと思うので、検討してほしい。

【市長】

たい肥化の推進については、考える必要があると思っています。市民農園としての取り組みが促進の1つになるとすれば、研究していきたいと思っています。

生ごみの置き場については、たい肥化の推進と合わせてその可能性を整理してみたいと思います。

5. プラスチックの処分方法について

【ご意見】

中町に住んでいる。先程、プラスチックは燃やした方がいいという意見があったが、他の人からもそういう声を聞く。確かに、リサイクルする際にエネルギーを使うので、地球環境にとってはどちらがいいのか。

【市長】

以前お聞きした専門家の話ですと、例えば、プラスチックを捨てるために洗ったりするなど、そのことでエネルギーを使ってしまうため、プラスチック自体がごみを燃やす燃料としても有効ならば、ある程度は燃やした方がいいのではないかということでした。

【クリーンむさしのを推進する会 新垣 俊彦 会長】



クリーンセンターでは、一定程度のごみの質、カロリーが高くないとうまく燃えないということで、一部に廃プラスチックや生ごみなどを入れてみると、私たちの計算上では、約1億4千万円ぐらいの節約になると見積もっています。

基本的には、家庭で料理をする時、水に濡らさないでそのままごみをとっていただく。それから、無駄な料理をせず、エコな料理をぜひ心がけてほしいと思います。

もう1つは、やはりごみの総量を減らしていくということが一番必要になります。分別など、皆様も頑張っておられますが、資源回収よりもまずリユースとカリデュースを先行していただき、家庭にごみを持ち込まないということを意識していただきたいと思います。

そのためには、それぞれのライフスタイルを切りかえていくための市民の側の学習や生活態度の変化が一番必要とされています。最近の市民の側の傾向としては、行政に頼ることが多いと感じています。市民は市民なりにきちんとやらなければいけない部分があると思います。ごみを作らないようにしていくことを市民一人ひとりの生活の中で行っていくことが大切であると思っています。

6. ディスプレイ、電気ポット、路上のバリケードについて

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。ディスプレイのことに興味がある。現在、大型高層マンションが建設されているが、ごみのことに関しても、やはり戸建てに暮らしている者とは違ってくると思う。既にディスプレイが設置されているマンションもあるが、市はどのように考えているのか。



次に、些細なことだが、入り口で配られた黄色いチラシのライフスタイルの提案に「ジャーの保温を止める」とある。コミセンでも時々コピー機などで必要のない時は電源は切っているが、今の電気ポットは電源を抜くとお湯が出てこない。何か便利なようで不便なところがある。

もう1つ、先程の意見にあった路上のバリケードの現状について、中道通りのところには、数箇所自転車を止めないようにバリケードをロープでつないであるが、問題はその置き方である。白線のところにずっと置いてしまうから、歩道となっている部分は一切歩けない。商店街の会長や市に聞いたが、手続きの関係なのか変えられないと言われた。あの場所は、歩行者と自

転車と車が多く、とても危ない場所であり、そういったところが増えているように思うので、景観ともどもぜひ直していただきたい。

【市長】

ありがとうございます。ディスポーザについては、基本的には市では推奨していませんし、使用の自粛をお願いしています。しかし、社団法人日本下水道協会で作成した「下水道のためのディスポーザ排水処理システム性能基準」に適合する評価を受けたディスポーザ排水処理システム（ディスポーザで粉碎した生ゴミを含む排水を、排水処理装置で処理してから下水道に流すもので、環境へ与える負荷が増大しないことを目的とした製品）については、使用自粛の対象としていません。

次に、電気ポットについては、コードを抜いても給湯できるものもあるようです。

最後の路上のバリケードについては、担当の部署が一度確認をとり、対応します。

7. たい肥づくりと校庭の芝生化について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。クリーンむさしのを推進する会では、以前からPTAの人たちなどと一緒に四中や大野田小などの落ち葉のたい肥化を始めているが、現在は、市立小中学校全校に落ち葉のたい肥場が出来ている。

できれば子どもたちが、落ち葉をたい肥化し、それを花壇に使うなど、自然の循環を体験してもらおうといったことを考えているが、まだ徹底していない面があり、これからの我々のやらなければいけないことだと思っている。

それからもう1つ、緑に関連して、学校の校庭の芝生化については、教育委員会はあまり乗り気でない。子どもたちが緑にかかわって、芝生の緑を守っていくことも大切なのではないか。また、環境教育ももちろんだが、実際に体力の増強という面はどうなのか。全国の体力テストを見ると、東京は落ちているようだが、武蔵野市の子どもたちはどうなのか。

芝生は、環境や体力に対していい効果があると思うので、ぜひ進めてほしい。

【市長】

ありがとうございます。落ち葉はごみではないですね。これは有効活用しないといけないし、活動いただいている皆様には本当にありがたく思っています。せっかくなたい肥場を設置したからには、子どもたちも参加して、学校のいろいろな樹木等に活用できればと思っています。

それから、校庭の芝生化については、今、学校全体の緑化という形で取り組んでいます。学校の敷地の利用は、各学校のいろいろな考え方を優先しなければいけないので、全面芝生化を市政として打ち出していませんが、できるところから取り組んでいただいています。

これまでに、一小、三小、三中の一部に、芝生を取り入れました。その維持管理の方法も含めて、長い目で見ながら、緑化という観点で学校にも取り組んでもらいたいと思っています。



(5) 閉会のあいさつ

【クリーンむさしのを推進する会 新垣 俊彦 会長】

皆様、遅くまでありがとうございました。クリーンむさしのを推進する会の会長として、来年の活動についてお話しします。



1つは「生ごみ生かす君」の活動です。現在モニターが200名以上いらっしゃいます。今後の問題としては、家庭で作ったたい肥をどういう形で戻すかということについて、市と話を進めていきたいと考えています。

次に、集団回収の事です。現在約160の集団回収登録団体がありますが、私たちは、それとは別にまちの中での個人での集団回収への参加を推進していきたいと思っています。例えば、高齢者の方たちへの配慮など、地域ごとに対応の仕方を考えていければと思っています。

最後に落ち葉の問題ですが、残念ながらごみや砂利が入っていると、すべてクリーンセンターで燃やすごみとして処理されています。ごみや砂利を入れずに落ち葉だけをきちんと分別すると、腐葉土になるし、農家でも受け入れていただけるので、その仕組みづくりを市と相談しながら、進めていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いします。

【市長】



皆様、大変遅くまでありがとうございました。環境をテーマに多岐にわたるご意見、ご質問をいただけたのではないかと思います。ここに参加された方は、環境に対して非常に関心をお持ちの方ばかりなのですが、市民の皆様の中には、関心をお持ちの方とそうでない方がおられます。市としましても啓発活動が大事になってきますが、その1つとしては、それぞれ皆様が実践していくことであると考えています。私もいろいろなところで、実践を通じて市民の方にPRしていければと思っています。

いずれにしても、武蔵野市から環境問題を発信していくということを、皆様とともに進めてまいりたいと思っていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、クリーンむさしのを推進する会の皆様のご協力に感謝いたします。本日はどうもありがとうございました。

第30回タウンミーティングでいただいたご意見一覧 (※アンケートでいただいたご意見も含まれます)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	緑化	水と緑の資料にある「自然環境を守り、体験し、つくり出す」という趣旨に沿って、市内の公園緑地をできるだけ生物多様性の高い空間に変えてほしい。	生物多様性については、市の環境施策の一つとして捉えています。平成22年度に策定しました公園・緑地リニューアル計画に基づき、幅広い世代のニーズに合わせ、テーマをもった整備・改修をバランスよく進めてまいります。
2		境山野緑地の自然再生に至急取り組んでほしい。皆伐更新に向けての十分な検討と市民理解の浸透や学習など、提言書や基本計画の趣旨に沿って、事業を進めてほしい。	皆伐更新については、環境が大きく変わってしまうことに対して心配をされる意見や、景観的な環境の側面からの違った意見など、様々なご意見をいただいています。これらのことを踏まえ、その進め方も含め、引き続き研究していく必要があると考えています。
3		「緑化条例」を考えてほしい。住宅を売却し、再販売する際に、すべての樹木を切っている。更地にしないで売却できないのはわかるが、市報で「移動できる木は市が引き取ります」と掲載してほしい。または土地の隅にある木等は建築に関係ないと思うので、そのような行政指導をしてほしい。	武蔵野市まちづくり条例及び武蔵野市緑化指導要綱に基づき、開発や建築等の際に、敷地の緑化について協議・指導を行っています。現在、私有地の緑は減少傾向であり、特に既存の樹木や緑がある場合には、その保全について、ご協力いただけるよう引き続き協議・指導してまいります。
4		吉祥寺駅前にもう少し大きな木を植えてほしい。	現在、吉祥寺駅の改修工事に伴い、既存の高木4本を移植しています。市の玄関口である吉祥寺駅周辺は、地下構造物の復そうから大きな樹木を新たに植栽することは困難ですが、JRと連携しながら、緑化の推進に努めてまいります。
5	公園	桜通り公園はいい公園だが、利用する人のマナーがいまひとつ気になる。ゴミが散乱していることもある。公園側の窓をいつも閉め切っている家もある。プライバシーに関してどれくらい配慮されているのか？夜、子どもがたむろしていることもあり気になる。そういう点からも、やはりトイレはつけられないほうがいい。公園があることで、かえって安心できない人もいるのでは。	ご意見いただいた公園は、「中央通りさくら並木公園」と存じます。この公園は、ワークショップの皆様のご意見を基に整備したものです。隣接地に対しては、植栽等による緩衝帯を設け、一方、安全面については、見通しの確保や照明の照度等を配慮しています。利用者のマナーについては、開園以降、注意を促しているところですが、ゴミ等の投棄が見受けられ、近隣の方々から自主的にゴミ等の清掃を実施しています。今後も、引き続き利用者へ呼びかけを行うとともに、近隣の方々や利用者との連携し、公園の美化に努めてまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	ごみ	<p>行政の資源回収はやめた方がいい。まして戸別収集なんてとんでもない。集団回収だけにすることが一番いいと思うので、本当に一度考え直してほしい。</p> <p>それと、集団回収に関する説明会が年2回あり、以前は、いろいろなノウハウのことなど、説明会とレクチャーの会を兼ねていたが、今は事務処理の説明が中心である。こういった説明会も集団回収に対する大きなたこ入れの1つであると思うので、ぜひ意味ある形にしてほしい。</p>	<p>市民、事業者、学生等で構成する「ごみ減量協議会」において、事業者の自主回収や集団回収の重要性が提言されているとおり、市としても集団回収を重要な施策として位置づけています。</p> <p>現在、市内の集合住宅を中心に、戸建住宅の場合は市民団体等にご協力いただきながら、協働で集団回収の拡大を図っています。しかし現状としては、多くの地域が集団回収を行っていないため、市の収集を廃止するのは困難な状況です。</p> <p>集団回収説明会では、市のごみの現状や取り組み状況についての説明や、集団回収の事務処理の説明を中心に行っています。その際、集団回収を行うメリットのひとつである、バス貸し出し等についても説明しています。今後も、引き続き市民の皆様のご協力をいただきながら、集団回収の拡大に努めてまいります。</p>
7		<p>ごみを量的に減らすということも大事だが、収集の回数を減らしていくことも効果があると思う。</p> <p>これは仕組みとして市がやると決めて、市民に対しては、数字などではっきり出せば、市民も納得するはずだ。不燃ごみもやったので、引き続いて、ぜひ早急にやってほしい。</p>	<p>ごみ減量協議会では、収集回収の見直しについて提言しています。市としては、第3期ごみ減量協議会においても、部会に分かれて検討を進め、議論を重ねてまいります。</p> <p>平成21年4月に燃やさないごみの収集回数を見直しましたが、引き続き、ごみ収集の仕組みについては、市民の皆様に混乱が生じないように検討してまいります。</p>
8		<p>クリーンセンターの処理能力が3万5,000トンから3万トンに減るといっているので、少しでも生ごみを減らすようなことを勉強しているが、市長としては、どのように5,000トンを減らそうと考えているのか。</p>	<p>市としては、平成29年度までに、ごみの種類別に減量・分別・資源化を推進する必要があると考えています。生ごみ約1,300トン、剪定枝葉約500トン、その他のごみ（紙・布類・プラスチック類など）約3,200トンを減量、資源化する方向で進めてまいります。そのためには、市民の方一人ひとりが、できる限り食べ残しをしない、水切りをするなどの減量に努める必要がございます。</p> <p>剪定枝葉については、全量資源化に向け、具体的に取り組みます。その他のごみについて、ごみ減量協議会の提言等も踏まえ、特に可燃ごみの約40%を占める紙類のさらなる減量、分別と、レジ袋の削減を積極的に取り組んでまいります。</p>
9		<p>生ゴミは戸建の方は土に埋めてはどうか。私はもう20年あまり、庭に埋めており、2年で完全な土になるので、燃えるゴミは1ヶ月に1回、小さな袋で間に合っている。</p>	<p>日頃から、ごみ減量と生ごみのたい肥化に取り組んでいただき、ありがとうございます。貴重なご意見として承ります。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
10	ごみ	<p>集団回収の場合、特に高齢者の世帯には、かなり負担になると思うので、高齢者に配慮し、そして若い人に対する啓発というところを少し強調した事業展開をぜひ考えてほしい。</p>	<p>集団回収は、地域の皆様が、回収の日時・場所・品目と市に登録した回収業者を決め、家庭から出される資源を資源回収業者が引き取るという自主的なリサイクル活動です。台車で回収場所へ運搬するなど工夫している団体もございます。</p> <p>市としては、集団回収の拡大に向け、若い世代も含め、全ての市民の皆様に参加いただけるよう、PRに努めてまいります。</p>
11		<p>日の出の不燃ゴミ処理場の寿命が気になる。他市との対応はいかがでしょうか。</p>	<p>日の出町にある二ツ塚最終処分場は、平成18年7月から、焼却灰を使用したエコセメント事業を開始しています。現在、不燃ごみのみを埋め立てており、埋め立て状況は、全体のおよそ44%に相当する量になっています。不燃物を埋め立てている団体は、多摩地区26団体中16団体です。各自自治体とも、ごみの減量に取り組んでおり、不燃物の残渣搬入量は、平成12年度のピーク時の9%と減少しています。</p> <p>今後も、各自自治体と連携し、引き続き埋め立て残渣をさらに減少させ、エコセメント事業を積極的に活用していきます。</p>
12		<p>南町では第三木曜が資源回収の日、その翌日が市の資源回収日で、その日に古新聞が出る。市は過剰サービスをやめたらどうか。</p>	<p>市では、集団回収の拡大に向け、啓発を行っていますが、新聞販売店の回収や集団回収が行われていない地域もあることから、市内地域により資源回収日を変えて、市の収集を行っています。</p> <p>ごみ収集の見直しについては、第3期ごみ減量協議会においても、部会に分かれて検討を進め、議論を重ねてまいります。</p> <p>平成21年4月に燃やさないごみの収集回数を見直したことから、市民の皆様に混乱を生じないように配慮しつつ、今後のごみ収集の仕組みについて検討してまいります。</p>
13		<p>日本は残飯率が高い国といわれている。データが古いですが、食糧全体の28%は消費されていない。この消費されていない食糧の廃棄を少なくすればごみも少なくなる。また、企業との話し合いが必要だが、吉祥寺の飲食店並びにデパートに、この問題に関する啓発活動をしてほしい。</p>	<p>ごみ減量を実現するためには、市民の方一人ひとりができる限り食べ残しをしない、買いすぎないような生活様式に取り組むなど、ごみの減量に努める必要があります。</p> <p>企業の食品残渣については、ごみの減量資源化の指導を進めています。市としては、特に多量排出事業者については、資源化を促すために夜間の立ち入り検査などを頻繁に実施しています。</p> <p>市では、基準を達成した事業所を「エコパートナー」として認定しています。食品関連事業者については、生ごみの全量資源化が認定の基準としており、今後もごみの減量資源化の取り組みを継続して実施いたします。</p> <p>また、多量排出事業者以外の中規模事業者の資源化促進については、焼却処理手数料の改定の検討について研究してまいります。</p> <p>市としては、今後も様々な取り組みを行い、啓発活動をさらに促進してまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14	リサイクル	リサイクルの見直しを全般的に行ってほしい。行政回収の資源物について、例えばプラスチックのリサイクルについては、選別しないで、クリーンセンターで燃やすほうがよほど環境にはやさしいと思う。例えば、都の事業活動で排出される温室効果ガスの約40%は、下水処理に伴うものである。これで本当に環境にやさしいのか。そういったことを調査して、きちんと見直してほしい。	リサイクルの合理性については、資源物のリサイクルの際、一定のエネルギー消費や環境への負荷が発生するため、様々なご意見があることは認識しております。プラスチックについては、限りある資源を有効利用するとともに、最終処分場への負荷を極力低減することが重要であると考えており、容器包装リサイクル法に基づく廃棄物の分別資源化を開始いたしました。現在は、エコセメント事業による焼却灰の再生利用により、市から排出されるごみの二ツ塚最終処分場への埋め立て処分は行われていませんが、最終処分場の延命は依然として大きな課題であることから、プラスチック容器包装廃棄物の分別資源化は必要であると考えています。また、国内における資源物リサイクルシステムの維持については、資源の安定供給が必要ですが、市のプラスチック容器包装廃棄物は、法に基づき国内で資源化されており、システムの維持・発展に寄与しています。
15	環境に関する啓発等	以前市民の方が、集団回収の必要性について、ごみを減量するだけでなく、子どもたちにも教えていくことを提案していたが、確かに、小さいころから学習、体験することで、大人になった時、自然とごみの減量の意識が身についているのではないかと。	クリーンセンター環境講座は、平成22年3月に開始した事業です。皆様のご意見をお聞きしながら、講座運営を行っていきたくと考えています。ごみ減量に関することの啓発については、ごみ便利帳、イラストごみ分別一覧表、武蔵野ごみニュースなど各種印刷物や市報、ホームページでのPR、ごみ分別案内所やイベントでのごみ分別指導、クリーンむさしの推進する会や環境美化推進員との協働による啓発活動、駅頭でのごみ減量キャンペーン、ごみの行方を知るツアー、清掃施設見学バス内説明、ごみ減量出前講座、フリーマーケット、環境寄席、愛の救援衣料など、各種啓発イベントを実施しています。また、子ども向けの環境教育としては、夏休みごみ探検隊、親子ごみ探検隊、高校生ごみ意識ミーティング、市内小中学校での出前授業(ゲストティーチャー)、小学生向けごみ情報冊子「ごみと生活」作成等を実施しています。環境に関する啓発は、行政の役割であり、関係部署で連携していきますが、同時に、市民の皆様との協働による啓発活動も推進していきたくと考えています。
16		市がクリーンセンターで環境講座を行っている。これは画期的なことであり、非常に感激し、評価もしているが、啓発については、行政がしっかり考えて動いてほしい。	
17	景観	三鷹駅北口を出たところに、四階建ての大型パチンコ店出店の計画がある。これは景観という観点からも大変大きな問題である。今度、開発基本計画に係る調整会が開かれるが、ぜひ市長に出席して傍聴してほしい。	建設の中止は、法律的には困難な状況であり、市としても大変苦慮しています。まちづくり条例制定後初めての調整会であり、日程調整し、調整会に参加いたしました。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	二酸化炭素削減	<p>目標として、1人1日当たり1キログラムの二酸化炭素の削減を掲げているが、削減のためには何をすればいいのかがわかりにくい。つまり、地球温暖化の問題で、我々に一番欠けているのは、この問題に対する認識ではないかと思っている。むさしのエコ・アップ協議会では、二酸化炭素の削減について理解しやすいように、数字を使っているが、なかなかむずかしいところがある。エコアップセミナーでは、月1回の検針のときにいかに計算して、それを二酸化炭素削減に結びつけるかということが一番の目的にしている。現在、年14回ぐらい実施しているが、何人の方に理解いただけたかは疑問がある。しかし、これはやらなければならないことと思っている。理解しやすい仕組みづくりがしっかりしていないと思うので、行政としても考えてほしい。</p>	<p>市では、市民との協働によるセミナーを実施するとともに、エコ・カレンダー(月別にエネルギー使用量を記録し、温室効果ガスの排出量を計算するカレンダー)や省エネハンドブック(省エネの取組と二酸化炭素削減量を掲載した小冊子)などを活用して、市民の皆様への普及啓発に努めています。また、啓発にあたっては、樹木による二酸化炭素固定量を併記するなど、市民の皆様にとってイメージしやすい表現を工夫してまいります。</p>
19		<p>省エネナビという機械を皆さんに貸していて、毎日その数字が見られるようにしている。わりと簡便な機械だが、1個約3万円ぐらいするので、市役所のほうで機器の貸し出しなどの援助をしていただきたい。これが普及すると、もっと自分の家のCO2がよく見える。その効果というのは非常に大きいのではないか。</p>	<p>市では、家電製品の電気代やCO2排出量を測定する機器として、エコワットの貸し出しを実施しています。省エネナビについては、環境まちづくり協働事業として行っている事業の中で、貸し出しています。今後も、市と市民団体等が協働し、具体的な成果や有用性を実感・共有できるよう勉強会等を実施していきたいと考えています。</p>
20		<p>コミセンでも時々コピー機などで必要のない時は電源は切っているが、今の電気ポットは電源を抜くとお湯が出てこない。何か便利なようで不便なところがある。</p>	<p>電気製品は、一定時間以上使わない場合に、プラグを抜くことで、電気料金や二酸化炭素排出量の削減に繋がります。電気ポットについては、6時間保温した場合と比べ、プラグを抜いて再沸騰した場合は、年間48.7キログラムの二酸化炭素を削減できます。電気を使って給湯するタイプのものはご指摘のとおりですが、空気圧を利用したり、乾電池を使用するなど、コードを抜いても給湯できるタイプもございますので、購入の際にご検討ください。</p>
21	太陽光発電	<p>南町コミセンの屋上に太陽光発電をつけるため、約2年前から館内に募金箱を置くなど市民の手でお金を集めているが、なかなか目標額に達しない。協力いただいた皆さんも期待しており、行政の支援をお願いしたい。</p>	<p>昨年度、公立小学校への太陽光発電の設置が完了しました。他の公共施設については、今年度実施する第三期環境基本計画の改定にあわせて、太陽光発電設備等自然エネルギー設備の設置を計画いたします。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22		<p>現在、市民農園の倍率が4倍ぐらいで、人気がある。以前、管轄部署に話してもだめだったが、生ごみを市民農園でたい肥にするとか、また、たい肥にしたものを使用するとか、そういう人には優先枠を与えてもらえないか。</p>	<p>市民農園の応募倍率は、平均で2倍程度あり、希望者全員が利用できない状態が毎年続いています。応募倍率が高いことから、優先枠を設ける考えはございません。</p> <p>また、生ごみのたい肥化と有効活用について、市民農園の利用者は、それぞれの方法でこだわりを持ってたい肥・肥料を工夫し、楽しみながら作物を育てている方も多く、利用については、個人の選択になるものと考えています。</p>
23	市民農園	<p>これは緑町市民農園の例で、他のところはわからないが、生ごみとか、雑草などの置き場が4畳分ぐらいあるが、そこがときどき山積みになっている。下がコンクリートになっているが、そのコンクリートを取り除き、土の上に置き、年に1回でも2回でも切り返しをしていけば、自然に下から土に返っていくと思うので、検討してほしい。</p>	<p>市民農園のごみ置き場のごみについては、定期的に回収し、良好な環境保持に努めています。しかしながら、時期によっては、すぐに満杯になることや、散乱や悪臭などにより、利用者や近隣住民の方にはご迷惑をおかけし、申し訳ございません。</p> <p>市民農園の維持管理としては、ごみを長くためておかないようにしているところですが、ご提案いただいたように、ごみを土に返すためには、今よりも広いごみ置き場が必要となります。</p> <p>市民農園は、人気が高く、希望者全員が利用できない状態が続いていることから、区画を減らすことにつながるものを設置することは困難な状況です。</p>
24	校庭の芝生化	<p>学校の校庭の芝生化については、教育委員会はあまり乗り気でない。子どもたちが緑にかかわって、芝生の緑を守っていくことも大切なのではないか。また、環境教育ももちろんだが、実際に体力の増強という面はどうなのか。全国の体力テストを見ると、東京は落ちているようだが、武蔵野市の子どもたちはどうなのか。</p> <p>芝生は、環境や体力に対していい効果があると思うので、ぜひ進めてほしい。</p>	<p>現在、第一小学校、第三小学校、第三中学校において、校庭の一部の芝生化を実施しています。これらの取り組みは、子どもたちが自然と親しみ、生命を尊重する心を育てることにつながっていると考えています。</p> <p>学校の校庭は、体育の授業などの教育活動のほか、少年野球やサッカー、夏祭り・どんど焼き等の地域の活動、また緊急災害時の避難場所など、多くの機能が求められています。また維持管理については、一定の養生期間も必要になります。これらの点を考慮し、各学校の意見を聞きながら、校庭全面の芝生化ではなく、現在実施している校庭の一部芝生化を継続していきたいと考えています。</p> <p>なお、本市の児童・生徒の体力について、いくつかの種目において全国レベルを下回るものもございますが、体育の授業や運動に関連する学校行事の充実や、休み時間の外遊びの奨励など、日頃から体力の向上に取り組んでいます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
25	落ち葉のたい肥化	<p>クリーンむさしのを推進する会では、以前からPTAの人たちなどと一緒に四中や大野田小などの落ち葉のたい肥化を始めているが、現在は、市立小中学校全校に落ち葉のたい肥場が出来ている。</p> <p>できれば子どもたちが、落ち葉をたい肥化し、それを花壇に使うなど、自然の循環を体験してもらおうといったことを考えているが、まだ徹底していない面があり、これからの我々のやらなければいけないことだと思っている。</p> <p>各学校で落葉のたい肥化をしていくにあたり、市も積極的に子どもや地域の人たちの参加・協力を促してほしい。</p>	<p>クリーンむさしのを推進する会と緑化環境センター、各学校では、協働で落ち葉のたい肥化を推進していません。市としては、今後も継続してこの取り組みを支援したいと考えています。</p>
26	地下水	<p>地下水保全条例について、検討してほしい。</p>	<p>現在のところ、条例化は考えておりませんが、市としては、今後も地下水保全にも繋がる土壌汚染の防止とともに、雨水浸透や雨水利用について、市民の皆様への啓発活動を行ってまいります。</p>
27	路上の看板等	<p>歩道と言いながら看板などがいっぱい置いてある。銀行の前などは20年前からひもで引っ張って歩道上にいっぱい置いてある。住みたい街ということで、大変人は増えているが、こんなに汚い街はどこにもないと思う。何故このことをまず始めにやらないのか。私は吉祥寺には50年ぐらい住んでいるが、駐輪対策のもとに自転車が道路に放置されている。市長には吉祥寺をきれいな街にしてもらいたい。</p>	<p>平成22年3月末日をもって、吉祥寺大通り上の利用登録駐輪場を閉鎖し、歩きやすい歩道を取り戻しました。また、4月1日からは、同通りの歩道上の放置防止指導を強化し、日中は、放置自転車がほぼ止められない状態を維持しています。</p> <p>看板などを道路上に置くことは、歩行者等の通行に支障を及ぼすことから、道路法及び道路交通法では禁止行為とされており、今後も引き続き、武蔵野警察署や地元商店会と連携し、指導・取締りを随時行ってまいります。</p>
28	道路上の表示物（車止めポール）	<p>ムーバスの通っている南町三丁目中央の交差点を右に曲がり、井の頭通りへ出るところ、次の停留所のすぐ手前のところに、1メートルぐらいのポールが2本立っている。交差点には点滅式の表示があるが、あのポールは点滅がなく、暗闇の中では全くわからない。</p> <p>自動車だとか自転車は電気をつけているので、照らせば反射してわかるが、歩行者にはわからない。真っ暗になると全然見えず、ぶつかって初めて気がつく。歩行者には危ないので、ポール自体が光るようにするなど、何か対策を考えてほしい。</p>	<p>ご指摘いただいたポールは、平成15年度、通過車両の速度抑止や安全運転意識の普及啓発等を目的に設置したものです。視線誘導標等の交通安全製品については、日々性能が向上していることから、自発光型のポールに交換いたしました。</p>

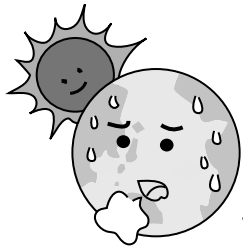
番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
29	歩道上のバリケード	中道通りのところには、数箇所自転車を止めないようにバリケードをロープでつないであるが、問題はその置き方である。白線のところにずっと置いてしまうから、歩道となっている部分は一切歩けない。商店街の会長や市に聞いたが、手続きの関係なのか変えられないと言われた。あの場所は、歩行者と自転車と車が多く、とても危ない場所であり、そういったところが増えていっているように思うので、景観ともどもぜひ直していただきたい。	中道通りの歩道(路側帯)部分のバリケードについては、放置自転車対策として、地元商店街と協議した上で、設置したものです。ご指摘いただいた趣旨はよく理解できますが、放置自転車を減らす効果があることから、他の方法が見つかるまでは、この措置をとらざるを得ない状況です。
30	玉川上水の橋	御殿山の玉川上水のところに、橋を作るようなアンケートが来たが、それが実現したらすごくいろいろな面で便利になる。あそこは緑がたくさんあるところなので、作る場合は、その辺の環境を考えて行ってほしい。	現在、人道橋の設置に向け、関係機関と協議を進めており、先日、地域住民を対象にアンケート調査を実施いたしました。今後も、人道橋を設置する方向で検討を進めていきます。
31	ディスプレイ	ディスプレイのことについて聞きたい。現在、大型高層マンションが建設されているが、ごみのことに関しても、やはり戸建て暮らししている者とは違ってくると思う。既にディスプレイが設置されているマンションもあるが、市はどのように考えているのか。	市では、ディスプレイの使用については、粉碎してそのまま下水道に放流する方式のものは認めていませんが、社団法人日本下水道協会で作成した「下水道のためのディスプレイ排水処理システム性能基準」に適合する評価を受けた製品のみ使用を認めています。
32	自転車対策	我々は、まじめに駐輪場にお金を払って自転車を駐輪しているが、末広通りの駐輪場南側の通路にいっぱい自転車が置いてある。最近、駅周辺はきれいになったが、ここもきれいにしてほしい。 シルバー人材センターでは、自転車が1台6,000円ぐらいで買える。例えば、駐輪場の料金が1ヶ月2000円とすると、違法駐輪を繰り返しても3ヶ月以上撤去されなければ、駐輪場に止めるより撤去されるたびに自転車を購入したほうが、安くなってしまうので、きちんと取り締まりをしてほしい。	吉祥寺駅周辺の放置自転車の数は、昨年度と比較し減少していますが、時間帯や場所によっては、自転車が歩道を塞ぎ、通行の支障となっています。放置禁止区域のすべての場所に放置防止指導員を配置することは、現在の体制では困難ですが、指導員を効果的・重点的に配置することにより、違法な駐輪に対応してまいります。
33		放置自転車について、本町2-15、元電話局前も撤去してほしい。時に救急車が通れない事もある。	
34	各課の連携	生物多様性や自然再生については緑化環境センターと環境政策課の両方に関係する問題なので、部局間連携や総合行政課、両課の一体化を進めるべきである。	ご指摘いただきました「生物多様性」や「自然再生」については、複数の課に関わる課題であると認識しています。今後も、情報を共有し、関係部署間の連携を図りながら研究を進めてまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
35	市民参加	<p>私は団塊の世代だが、これからはこの世代の者が、地域の活動にどんどん参画していかなければいけないと思っており、私自身、同年代の仲間を引っ張り込んでいく。</p> <p>我々は、こうした活動を地域に向かってできるだけ見えやすく、わかりやすく説明していくつもりだが、市でも、協働事業として市民に向かって発信し、地域の活動に入りやすくするような土壌をつくってほしい。</p>	<p>団塊の世代の方の地域活動への参画は、地域を活性化していく上でも大変重要なことと考えています。</p> <p>市では、ボランティアセンター武蔵野が主催する「お父さんお帰りなさいパーティー」(年1回)、「おとぼサロン」(月1回)の事業を始め、地域団体や「DANKAIプロジェクト」などのNPO団体等が行っている団塊世代に対する活動を支援しています。</p> <p>また、平成22年2月、団塊世代やシニア世代の皆様の地域での活動を推進するため、関係する団体をネットワーク化する組織として、「シニアネットむさしの」を設立いたしました。</p> <p>今後も、各団体の情報交流を進めながら、多くの市民の皆様に各団体の活動への参加を促進することを目指していきます。</p>
36	タウンミーティング	<p>タウンミーティングに一般の市民がもっと参加してもらえるように。本日あることを知っている人が何人いるのか。知らない人がほとんどで、知名度が低い。</p>	<p>市民と市長のタウンミーティングは、市長が市民と直接会って、率直に意見交換を行う場として開催しています。</p> <p>平成18年からスタートしたこの会には、「地域別」や「テーマ別」、またテーマを設定しない「青空タウンミーティング」などがあり、今回で30回目になります。</p> <p>開催の告知については、市報やホームページへの掲載のほか、公共施設等へのポスター掲示やチラシ配布を行っています。また、開催する地域やテーマに関係する団体等へも呼びかけています。</p> <p>今後も、様々な機会を通じてお知らせしてまいります。</p>

3. アンケートでいただいた感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。

1	環境は、これからの地方行政でますます重要なテーマだと思う。ぜひ、第2回、第3回の開催をお願いする。
2	環境とゴミ減量に分けて意見交換をしたのは良かった。話題が整理されて、話し合いがスムーズだったが、市民から生活に根ざした具体的な提案が少なかったのが残念。
3	市民が本当にごみ減量のことを考えていることがよくわかった。環境についても、武蔵野市は進んでいると思った。
4	いろいろ関わっている人の意見を聞いて参考になった。出来ることから取り組みたい。
5	いろいろな意見を聞いて、それぞれの思いは同じ気持ちなのだと思う。足元を見つめて、個人個人が責任を持てればと思った。ただ、モラルの低下が残念。
6	活動している人の話を聴いて感心した。自分の無関心、無気力さを恥じる思いである。
7	参加するきっかけが大事。「何か参加して協力する」という気持ちを持っている人は大勢いる。プッシュしてくれる人が大切である。
8	美しい街、住みよい町のために、行政と住民がお互い手足を伸ばして努力しよう。
9	初めてタウンミーティングに参加した。意見を言わなかったが、一人ひとりの意見が新鮮で、聞くだけでも勉強・参考になった。
10	「お役所」「市民」という枠ではなく、「一市民」として、一緒に考えるようなミーティングという印象を持った。
11	行政からは、啓発や若い世代への見識、興味を喚起する事業組み立てが見えなかった。
12	質問者の発言が長い。議事進行にけじめをつけ、スムーズにして欲しい。



エコシティむさしのをめざして 一緒に取り組んでいきましょう

環境像を実現するための取り組み
第二期武蔵野市環境基本計画(改訂版)概要
2008年~2010年

1【しくみづくり】

市は市民が自発的に活動できる基盤を整備し、環境を考え、自ら行動することを支援します。

◎市民の取り組み

- ◇環境問題に興味をもち、積極的に活動します
- ◇環境の輪を拡げます

◎事業者の取り組み

- ◇環境に配慮した事業活動のための仕組みをつくります
- ◇従業員の環境活動を支援します
- ◇環境情報を積極的な広報します

3【緑と水】

市は自然環境を守り、再生し、創り出します

◎市民の取り組み

- ◇壁面緑化、屋上緑化、生垣など敷地内の緑を増やすことを心がけます
- ◇武蔵野の自然を保全し、再生するための生態系を、市、事業者と一緒に守り育てていきます
- ◇外来生物を遺棄、放流しないようにします
- ◇季節ごとの旬の食材を使用します。
- ◇なるべく市内農産物を買うことを心がけます

◎事業者の取り組み

- ◇事業所の敷地内、屋上、壁面の緑化を行うよう心がけます
- ◇緑を守る活動を積極的に行います
- ◇生物多様性を意識し、地域の自然にあった植栽に協力します
- ◇市内農産物を積極的に利用します

4【交通・運輸】

市は環境負荷の少ない交通体系に変えていきます

◎市民の取り組み

- ◇近くは徒歩で、距離がある場合は公共交通機関や自転車を利用するよう心がけます
- ◇自転車を利用する際は、交通ルールやマナーを守ります。
- ◇エコドライブを徹底します
- ◇車両を購入する際は、低公害車や燃費の優れた車の購入を心がけます

◎事業者の取り組み

- ◇駐車場・荷捌き場等を確保し、周辺交通への障害を防止します
- ◇エコドライブを徹底します
- ◇車両を購入する際は、環境に配慮した自動車の導入を進めます
- ◇マイカー通勤を控えるノーカーデーを設定します

5【景観・まちづくり】

市は環境に配慮した美しいまちづくりを進めます。

◎市民の取り組み

- ◇住宅を建てたり、借りたりする際は、地域の景観にあったものを選びます
- ◇まちの清掃に積極的に取り組みます

◎事業者の取り組み

- ◇武蔵野らしい景観を作り出します
- ◇建物をつくる際には、景観に配慮します
- ◇まちの美化活動に積極的に参加します

6【健康・安全】

市は安全・安心で快適に暮らせるまちにします。

◎市民の取り組み

- ◇雨水浸透施設を設置します
- ◇下水に油等を流さないようにします
- ◇ペットを飼う時はルールとマナーを守り、近隣に迷惑にならないようにします
- ◇野生鳥獣(ハト・カラスなど)に餌付けしないようにします

◎事業者の取り組み

- ◇雨水浸透施設を設置するなど、流量の削減に努めます
- ◇有害物質の管理を厳重におこないます
- ◇周辺の生活環境に配慮した事業活動を行います
- ◇下水の臭気対策に取り組みます

2【ライフスタイル】

市は環境にやさしい暮らし方を提案します。

◎市民の取り組み

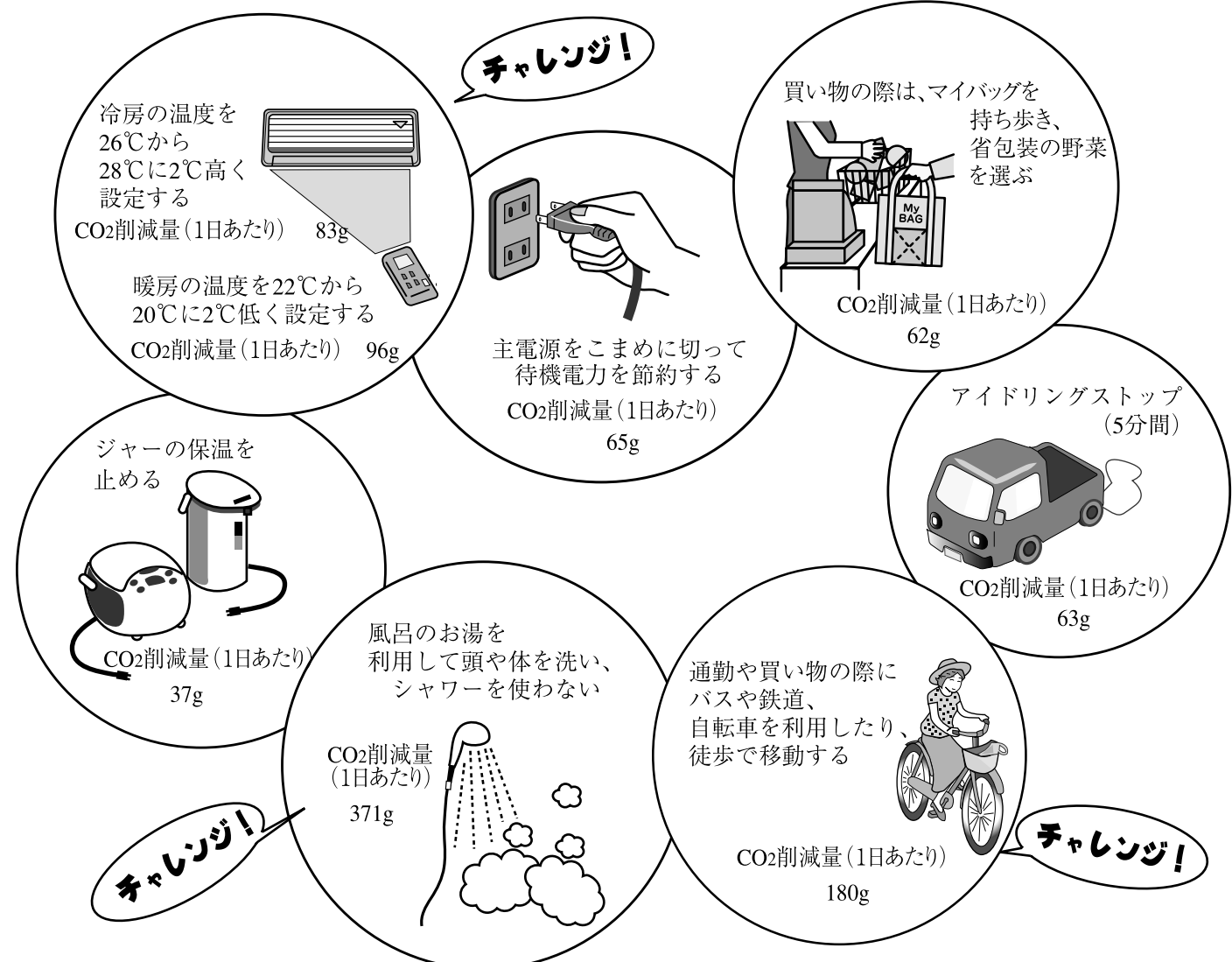
- ◇省エネにより地球温暖化の防止します
- ・エネルギー(電気、ガス)の使用量を把握します
- ・目標を立てて省エネに取り組みます
- ◇ごみの減量します
- ◇地域で省エネ・新エネに取り組む仕組みをつくります

◎事業者の取り組み

- ◇事業所部門の省エネ・省資源します
- ・省エネに関する実践内容、ノウハウを事業者間で共有します
- ◇廃棄物の削減に積極的に取り組みます
- ◇顧客の省エネの取り組みの支援します

市民の行動目標
市民一人1日あたりの
二酸化炭素排出量を1kg削減しよう!

事業者の行動目標
事業所あたりのエネルギー使用量を
2005(平成17)年度比5%以上削減しよう!



1【しくみづくり】

市民が自発的に活動できる基盤を整備し、環境を考え、自ら行動することを支援します。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①過去1年間に環境学習に参加した人の割合を2010(平成22)年度に10%にする。(現状)平成17年度実績 6%(市民意識調査による)
- ②市内のこどもエコクラブの数を2010(平成22)年度に10クラブとする。(現状)平成19年度実績 3クラブ

- ◆環境教育・環境学習の充実
生涯を通じた環境学習プログラムの作成
- ◆市民・事業者・行政のネットワークづくり
- ◆市民活動の基盤の整備
環境情報の積極的な提供

2【ライフスタイル】

環境にやさしい暮らし方を提案します。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①2010(平成22)年の市域全体の二酸化炭素の排出量を、1990(平成2)年レベルから6%削減(526,668t以下に)する。(現状)平成17年度 564,997t
- ②新エネルギーの利用により、二酸化炭素の排出量を400t削減する。
 - (1)公共施設における太陽光発電設備容量を2010(平成22)年度までに400kWにする。(現状)平成19年度実績 298.18kW
 - (2)民間住宅における太陽光発電設置住宅割合を2010(平成22)年度までに1.2%にする。(現状)平成19年度実績 0.95%
- ③市民一人1日あたりのごみ排出量を2010(平成22)年度までに722g以下に削減する。(現状)平成19年度実績 743.3g
- ④過去1ヶ月の間に過剰包装を辞退したことの割合を2010(平成22)年度までに90%にする。(現状)平成17年度実績 6%(市民意識調査による)

- ◆環境に配慮した暮らしへの転換
新エネルギーの導入の推進
環境配慮型ライフスタイルの啓発
環境配慮行動普及のための制度の充実
事業所の環境経営の普及促進
環境配慮自動車の普及促進
雨水の利用推進
公共施設における環境負荷軽減施策の実施
新たな評価基準の導入の検討・実施
- ◆資源の循環的利用の推進
ごみ発生抑制策の強化

武蔵野市の目指す環境像

市民とつくる 持続可能な
自然の営みを活かす
安全・安心で健康に生活できるまち

計画の目標値

2006(平成18)～2010(平成22)年の市の平均気温を
1988(昭和63)～1992(平成4)年の平均レベルに下げる。

(参考) 1988(昭和63)～1992(平成4)年の平均気温15.32℃
2003(平成15)～2007(平成19)年の平均気温15.78℃

3【緑と水】

自然環境を守り、再生し、創り出します。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①緑被率を2010(平成22)年度までに24.5%にする。※
(現状)平成17年度実績 24%
 - ②保存樹木の本数を2010(平成22)年度までに720本にする。※
(現状)平成19年度実績 685本
 - ③屋上緑化・壁面緑化・緑のカーテンなどを導入した市の公共施設を2010(平成22)年度までに8施設にする。
(現状)平成19年度実績5施設
 - ④2010(平成22)年度までに、公有地の緑被地面積を93.765ha、民有地の緑被地面積を169.2haに高める。※
(現状)平成17年度実績 公有地91.73ha、民有地165.8ha
- ※「武蔵野市緑の基本計画2008」の目標数値を、平成22年度に換算した数値

- ◆うるおいのある緑空間の整備
緑のネットワーク化の推進
- ◆市民との協働による緑化の推進
- ◆水辺環境の整備
- ◆森林の保全と活用
吸収源としての森林経営の検討
- ◆都市農業の支援
- ◆生物多様性の保全
生物多様性についての情報提供、啓発
生物多様性保全計画及び管理計画の策定

環境像を実現するための市の取り組み

第二期武蔵野市環境基本計画(改訂版)概要
2008年～2010年

4【交通・運輸】

環境負荷の少ない交通体系に変えていきます。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①渋滞や違法駐車を減らし、交差点における環境基準を維持する。(現状)平成19年度 環境基準超過なし
- ②1世帯あたりの自動車保有台数を2010(平成22)年度に0.65台にする。(現状)平成19年度実績0.656台

- ◆歩いて楽しいみちづくり
『環境のみち』づくりの検討
- ◆自転車を利用しやすい環境づくり
駐輪場の確保と利用形態の工夫
- ◆公共交通の利用促進
- ◆渋滞のない交通体系の整備

5【景観・まちづくり】

環境に配慮した美しいまちづくりを進めます。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①電線類地中化延長を2010(平成22)年度までに全市道延長の6.0%にする。(現状)平成19年度実績 5.9%

- ◆景観行政への積極的取組み
景観計画と景観条例の検討
- ◆環境に配慮した土地利用
- ◆美しく清潔なまちづくり
迷惑喫煙、ポイ捨て、落書き防止の推進
- ◆環境に配慮した建物づくり
まちづくりへの環境共生理念の導入

6【健康・安全】

安全・安心で快適に暮らせるまちにします。

環境目的(計画期間における達成度指標)

- ①市立小中学校病院等周辺地域における下水道の耐震改修の箇所数を2010(平成22)年度までに740箇所にする。
(現状)平成19年度実績 416箇所
 - ②地下水の涵養に取り組む世帯の割合を2010(平成22)年度までに20%とする。(現状)平成17年度実績 6%(市民意識調査による)
- 参考指標(目標値を持たないが、日々の活動において監視・測定をする項目)
- ①大気・水質・土壌各項目の環境基準を超えた項目数。
(現状)平成19年度実績 1項目(光化学オキシダント)
 - ②光化学スモッグ注意報の発令日数。(現状)平成19年度実績 13日

- ◆環境の危機管理
有害性物質の適正な管理及び指導
- ◆生活環境の維持
生活公害の防止
- ◆水の安定供給
水源林の保全
- ◆水の循環システムの確立
雨水貯留浸透施設の設置の推進

第30回

テーマ別

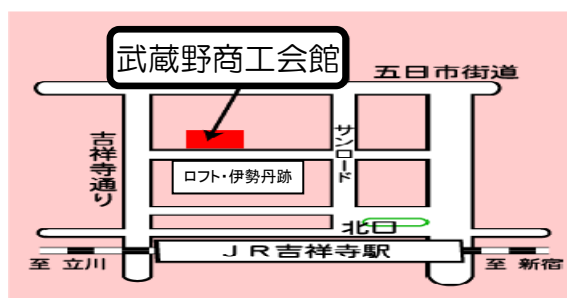
市民と市長の タウンミーティング

市民の皆様と市長が意見交換を行います。
お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

主
役
は
市
民
で
す

- テーマ 市民とつくる環境にやさしいまちづくり
- 期 日 平成22年4月19日(月)
- 時 間 午後6時30分～8時30分
- 会 場 武蔵野商工会館4階市民会議室
住所：武蔵野市吉祥寺本町1-10-7
- 主 催 クリーンむさしのを推進する会・武蔵野市

〈案内図〉



- ◆ 申 込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆ 出席者 市民の皆様、市長、市関連部長
- ◆ お 願 い お車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ◎武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課
TEL. 0422-60-1829 FAX. 0422-51-2000

テーマ別

第30回 市民と市長のタウンミーティング

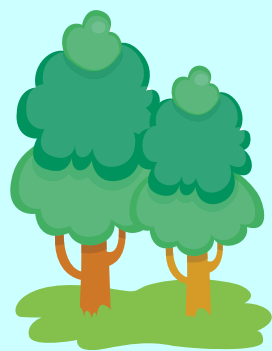
市民とつくる 環境にやさしいまちづくり

武蔵野らしい緑の環境を目指して

地球温暖化の防止
武蔵野から生み出すエコライフ
協働による緑の保全と創出
仙川や千川上水など水辺環境の整備

ごみ減量チャレンジ700グラム

ごみの減量・資源化の推進
生ごみの排出抑制 レジ袋の削減



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課(0422-51-2000)にお送りください。

第30回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング
～市民とつくる環境にやさしいまちづくり～
報告書

発行 平成22年6月
武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)